

ハートフル オートクローザー（片引インセット） 《扉施工用》

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。



施工にあたってのご注意

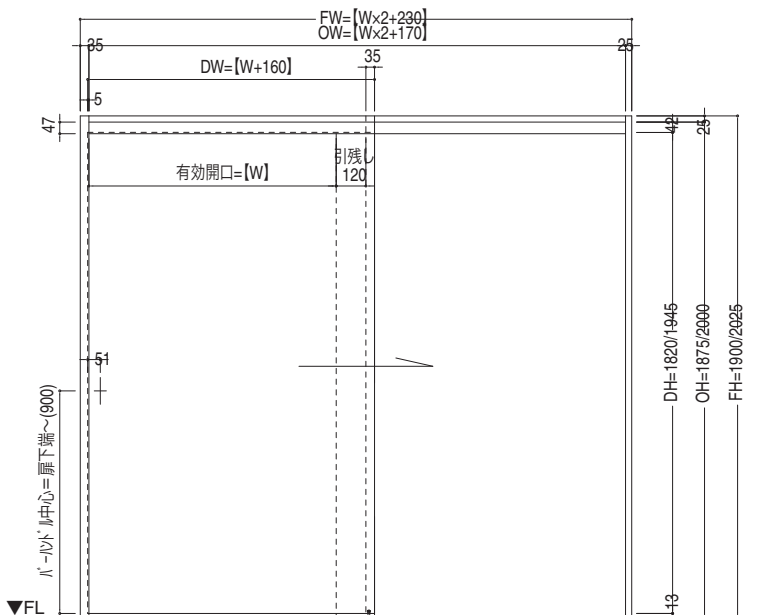
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

扉 梱 包			
扉本体 (1)		ハンドル引手 (1)	
		振止ガイド (1) ※ビス付	
		上レール (1)	

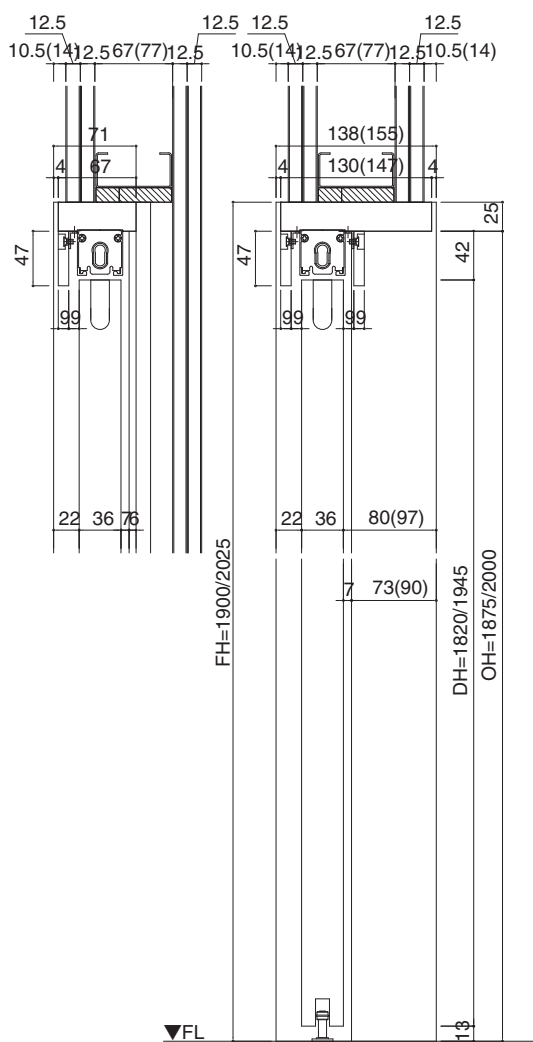
※錠類は部品の説明書をご覧ください。

納まり図

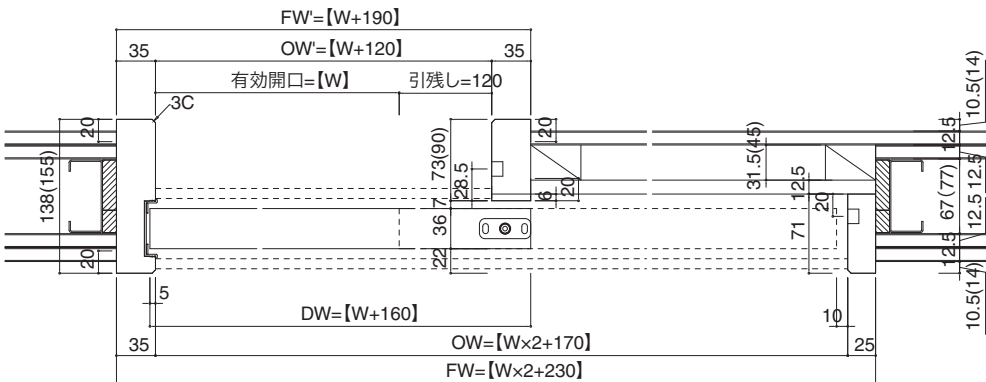
姿図



縦断面図



横断面図



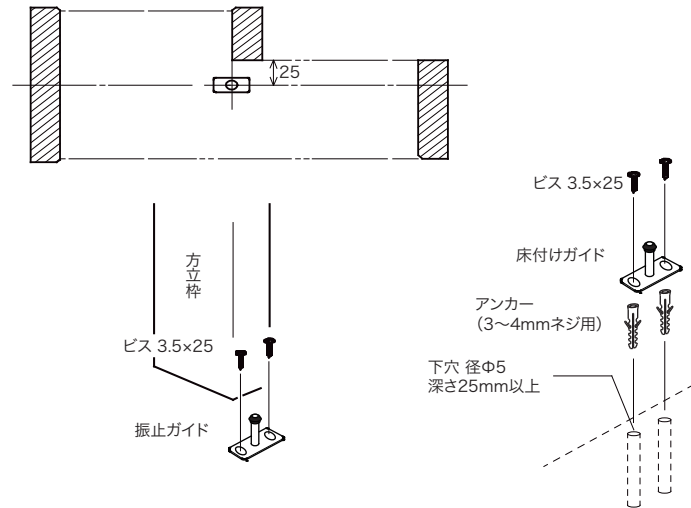
1. 部品の取付け

《振止ガイドの取付け》

①振止ガイドをフロアーにビス止めしてください。

A:木製床の場合
付属のビスで直接固定してください。

B:コンクリート下地床の場合
付属のアンカーを使用してビスで固定してください。



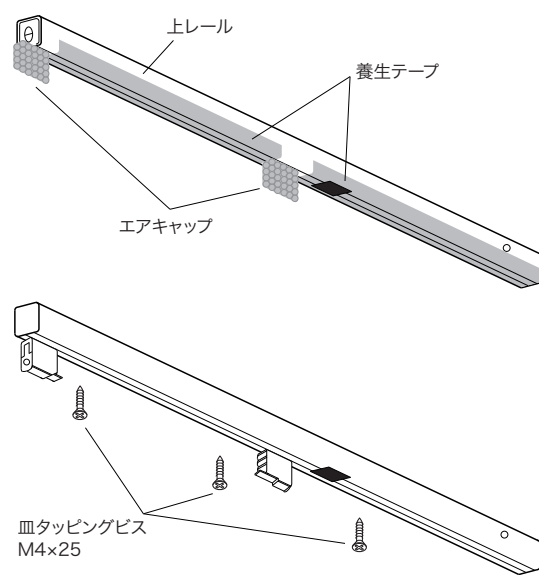
《上レールの取付け》

①ランナー部のエアキャップ袋を外し、上レールの養生テープを剥がしてください。

注意 養生テープは扉吊込みの直前まで必要です。上レール取付後、砂塵・埃などを防止するため必ず再度養生テープを貼り付けてください。

② 上レールを上枠にビス止めしてください。

※皿タッピングビスM4×25は、標準タイプのレール長さ1594mmで3個、1637mm以上は4個使用します。

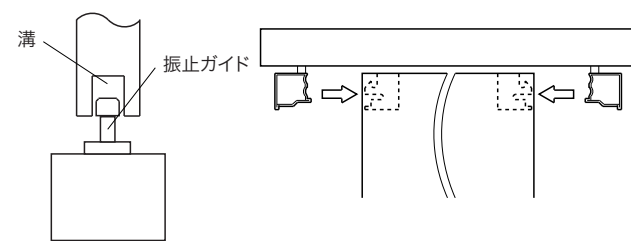


2. 扉の取付け

① 上レールの養生テープを剥がし、レール内のゴミ・埃を除去してください。

② 扉の底面の溝を振止ガイドにはめ込んでください。

③ 扉に取り付けてあるホルダーに戸先側ランナーと戸尻側ランナーをカチッと音が出るまできっちりはめ込んでください。

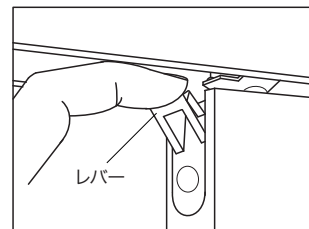


注意

扉を外す場合は以下の手順で行ってください。

- ① 戸先ランナーのレバーを起こします。
- ② そのままレバーをつまみ、手を離さず戸先ランナーを引き出します。

※ 戸先ランナーを取り出す場合は、引き出した瞬間に戸先ランナーがバネで引っ張られますので、縦枠まで手を添えておいてください。
(急に離すと戸先ランナーが急激に移動し、破損の原因となりますのでご注意ください。)

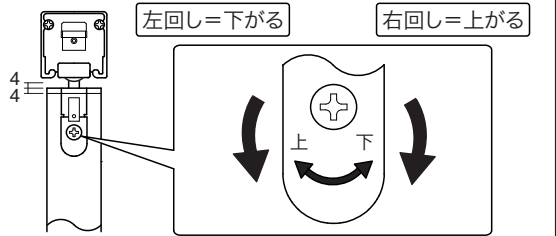


3. 建付け調整

《扉の上下調整》 ～上下4mmの調整が可能～

① ドライバーにて上下調整ねじを回し、扉の高さ調整を行ってください。

※ 出荷状態では扉の上面とレールに7mmの隙間のできる設定となっております。吊込み直後は上下方向にそれぞれ4mmの調整が可能です。

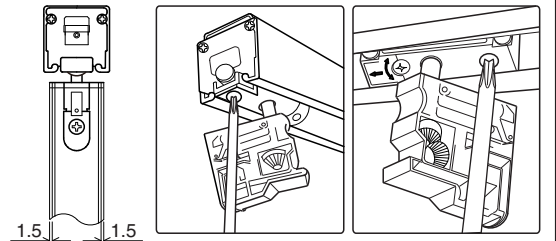


《扉の前後調整》 ～前後1.5mmの調整が可能～

① 戸先側、戸尻側ランナーを扉(ホルダー)から外してください。

② 戸先側、戸尻側ともにランナー下面にある前後調整ねじを緩め、扉の奥行き方向の調整を行ってください。

※ 調整後は前後調整ねじを確実に締め込んでください。
※ 調整後は扉の吊込みを確実に行ってください。

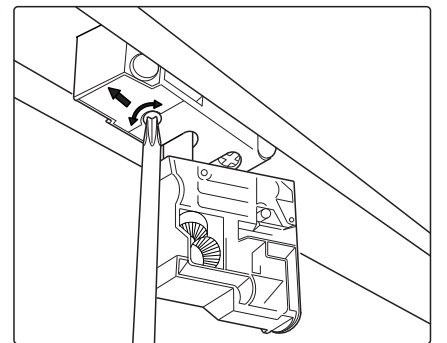


《キャッチ力の調整》

① 戸尻側ランナーを扉(ホルダー)から外してください。

② 戸尻側ランナー下面にあるキャッチ力調整ねじを回し、キャッチ力の調整を行ってください。
・左回し:キャッチ力が強くなる
・右回し:キャッチ力が弱くなる

※ 調整後は扉の吊込みを確実に行ってください。

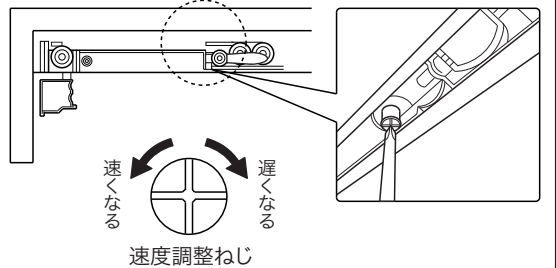


《開閉速度の調整》

① 戸先、戸尻ランナーを扉(ホルダー)から外してください。

② 下面にある速度調整ねじを回し、開閉速度の調整を行ってください。
・左回し:開閉速度が速くなる
・右回し:開閉速度が遅くなる

※ 調整後は扉の吊込みを確実に行ってください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。
※ダンボールはリサイクル品です。
地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。